

令和2年度 吹田市自殺対策推進懇談会
議事要旨

開催日時	令和2年11月4日（木）午後2時00分開会～午後4時00分閉会
開催場所	吹田市立保健センター 研修室
委員長	小久保委員
出席者	小久保委員、濱野委員、岩脇委員、松川委員、豊島委員、 佐本委員（代理出席） （以上6名）
欠席者	坂元委員
議題	（1）吹田市自殺対策計画、自殺対策の推進体制について （2）令和元年 吹田市自殺者数等について （3）令和元年度 自殺対策施策の各機関進捗について （4）令和2年度 自殺対策の取り組みについて （5）その他
資料	○資料1 自殺対策計画施策体系図 ○資料1-2 自殺対策の推進体制（2018年度～） ○資料1-3 自殺対策計画の推進方法 ○資料2 令和元年 吹田市自殺者数等について ○資料3 吹田市自殺対策の進捗状況 ○資料3-2 吹田市自殺対策の進捗状況 （自殺対策計画進捗確認シート） ○資料4 実務担当者会議（9月30日開催）報告 ○資料4-2 令和2年度 自殺対策推進スケジュールについて ○資料4-3 ゲートキーパー研修実施計画について ○参考資料1 吹田市自殺対策推進懇談会の傍聴に関する事務取扱要領 ○参考資料2 吹田市自殺対策推進懇談会設置要領及び委員名簿

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 の 要 旨
1 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○開会あいさつ ○懇談会傍聴について ○資料確認
2 案件	
(1) 吹田市自殺対策計画、自殺対策の推進体制について	
事務局	○資料1及び資料1-2、1-3に基づき説明
(2) 令和元年 吹田市自殺者数等について	
(3) 令和元年度自殺対策施策の各機関進捗について	
事務局	○資料2及び3に基づき説明
委員	資料2の説明で「20歳未満の自殺者が多い」ということだが、年齢の内訳はわかるか。
事務局	○年齢まではわからないが、市の特徴でもあるのでなんらかの方法で探っていきたい。
委員	資料3のP17の「(ク)学校・教育・青少年に関する相談・支援等」の「4子どもサポートチーム事業」のところで、「令和元年9月から週10時間から週20時間に配置を拡充」とあるが、人数と予算規模がどれくらい変わったか、具体的にわからないとイメージがつかめない。今すぐでなくてもいいので教えてほしい。
事務局	○確認しておく。
委員	資料2の「原因動機別」で、女性は「健康問題」が多いが、背景にもっといろいろ隠れていると思う。

事務局	<p>○表面的にはうつ状態になって自殺することが多くなるので、健康問題の中にがんや難病といった病気だけではなくメンタル的な要素が入っているのはまちがいない。原因動機としては健康問題や経済問題等の中でも、もう少し細かく項目は分かれている。遺書や亡くなった方のご家族への聴き取りをして作成しているので、一定限界はあると思う。</p>
<p>(4) 令和2年度 自殺対策の取り組みについて (実務担当者会議参加機関報告・自殺対策推進スケジュール・ゲートキーパー研修実施計画等)</p>	
事務局	<p>○資料4及び資料4-2、4-3、追加資料に基づき説明</p>
委員	<p>これまでの経験から、「孤立を防ぐ」ことがキーワードと考え、今回提言が3つある。</p> <p>1点目は、心の相談室などの相談先を記載したリーフレット等よくあるが、若者は紙ベースのものは見ないことから啓発は動画を活用してはどうか。</p> <p>2点目は、吹田市内にある大学との連携について。吹田市から呼びかけて協議会みたいな横のつながりを作り学生が死に至ることを防いでほしい。</p> <p>3点目は、若者は親世代の話はきかないが、祖父母世代の声は聞くことあり。そういう人たちが相談員になってじっと聞いて、まあ生きていたらいいことあるという姿勢で聞くという相談はできないか。</p>
事務局	<p>○提言の2点目の市内の5大学との連携については府保健所時代からたばこ対策、性感染症、アルコール、食中毒といった保健所のいろいろな事業ごとに、それぞれの大学の困りごとが個別に入っていたところを、5大学と保健所と一緒に共有する仕組みが3、4年前からできている。そこにのせれば5大学に働きかけることは可能と思われる。</p>
委員	<p>社会福祉協議会ではコロナの貸付相談を3月から実施。また若者への支援では、市内の5大学にヒアリングに回り、相談窓口があるだけでは相談しないという状況から社協等があることを知ってもらうきっかけの一つとして一時的に学生へ食材を提供する取り組みを10月に実施。反応を見ながら第2弾、第3弾で大学へのアプローチ方法を模索していきたい。</p>
(5) その他	<p>(各所属の取り組みや計画への意見等)</p>
委員	<p>吹田市薬剤師会の昨年度の実施状況としては、例年通り自殺予防強化月間の際にポスター掲示にあわせて自殺対策のリーフレットは各薬局に置いた。今年度はゲートキーパー研修をして、各薬局で対応ができるように取り組ん</p>

委員	<p>でいきたい。</p> <p>社協のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）は地域の身近な相談員として、“何か困りごとがあれば気軽に相談くださいね、窓口だけでなくご自宅などでも相談を受けることもできるので、まず一人で悩みを抱えず吐き出してくださいね”というところから相談をスタート。PR もしっかりとしていきたい。</p> <p>学生が一人暮らしの高齢者に手紙を書くという取り組みに社協も入っている。学生が手紙を渡す、それに反応がある、その反応をみて学生がこんなことで感謝されるんだということで喜びや必要とされていると感じるちょっとした体験の積み重ねが自殺を未然に防ぐためのきっかけになるかもしれないととらえ、今後も学校と連携して取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>民生児童委員は赤ちゃんから高齢者の看取りまでの関わり。近所で見守るという形で、何かあれば相談してくださいことで関わることもある。いろんなところへつなげていき、自殺までいかないようにくい止められるように活動。民生委員は地域で信頼してもらい活動している。大学生への関わりとなると難しい面もあるが、若者は高齢者の話を聞く、というところで役に立てたらと思う。</p>
委員	<p>こころの健康総合センターで、わかぼちダイヤルという 40 歳未満の若者向けの電話相談を水曜日に実施。大阪府の取組で SNS を活用した相談対応を令和 2 年 5 月から大学生・妊産婦向けに実施。LINE のトーク機能を使い週 3 回 17 時半から 22 時半まで、受付は 22 時までに行っている。新型コロナの電話相談として新型コロナこころのフリーダイヤルを令和 2 年 10 月から令和 3 年 3 月末までの予定で実施。従来の府や各市町村での広報による周知に加えて今回検索連動型広告での周知を行っている。</p>
委員	<p>自殺者は若年者が多く、プライバシーの問題であまり細かくというのは難しいと思うが、年齢層や理由をわかる範囲で追求してほしい。また 5 大学の経験交流の場をもったらどうか、そこに社協も関わったらどうかという意見が出たので、実現できるかどうかに向けて事務局で検討を。</p>
事務局	<p>○リーフレット「一人で悩まないで」を今年度改定。配布可能なところがあれば声かけを。</p> <p>○本日の意見は、庁内会議で報告するとともに、具体的にすすめていけるものは関係機関と連携しながら進めていく。</p>
(閉会)	